

【試合結果】

男子予選 Aブロック第2試合		SA - 2 - A
日時	平成19年8月21日(火)	10:50 ~
会場	山形市総合スポーツセンター SAコート	
結果	山形第六	明豊
	山形	愛知
	92	50
	18 - 15	
	15 - 16	
	24 - 12	
	35 - 7	
	OT	
審判	主審 荒木 義文	副審 神戸 学

平成19年度 全国中学校体育大会
第37回全国中学校バスケットボール大会



【個人トータル表】 x = スタートメンバー / = 出場選手 空欄 = 出場なし

山形第六								山形							
No	選手氏名	PI-in	得点	3 P	2 P	F T	反則	No	選手氏名	PI-in	得点	3 P	2 P	F T	反則
4	熊澤 佑柁	x	8	0	4	0	2	4	平岩 寛大	x	15	3	3	0	0
5	高橋 貴大	x	23	2	6	5	0	5	島村 知志	x	2	0	1	0	5
6	佐藤 和樹	x	18	6	0	0	2	6	河田 峻登	x	4	0	1	2	0
7	佐藤 完太	x	6	0	3	0	1	7	中村 康人	x	17	1	6	2	3
8	笹原 祐樹	x	19	2	6	1	0	8	則武 恵秀	x	6	2	0	0	1
9	古澤 祐介	/	4	1	0	1	0	9	伊藤 大知	/	2	0	1	0	1
10	青山 陽平	/	4	0	2	0	0	10	野田 海渡	/	0	0	0	0	0
11	阿部 誠	/	0	0	0	0	1	11	綿本 和真	/	0	0	0	0	1
12	志貴 一仁	/	4	0	2	0	2	12	岡田 銀河	/	2	0	1	0	2
13	千葉 昂朔	/	1	0	0	1	0	13	土井 英和	/	0	0	0	0	1
14	秋葉 真司	/	0	0	0	0	0	14	小山 拓也	/	0	0	0	0	0
15	武田 遼大	/	4	0	2	0	0	15	間瀬 良輔	/	2	0	1	0	0
16	八鍬 一斗	/	0	0	0	0	0	16	宇田 喜春	/	0	0	0	0	0
17	東海林 燎	/	0	0	0	0	0	17	柘山 祥汰	/	0	0	0	0	0
18	川田 源貴	/	1	0	0	1	0	18	岡 アタル	/	0	0	0	0	0
C	植松 哲也	/	/	/	/	/	0	C	大矢 貴彦	/	/	/	/	/	0
合計			92	11	25	9	8	合計			50	6	14	4	14

明豊								愛知							
No	選手氏名	PI-in	得点	3 P	2 P	F T	反則	No	選手氏名	PI-in	得点	3 P	2 P	F T	反則
4	熊澤 佑柁	x	8	0	4	0	2	4	平岩 寛大	x	15	3	3	0	0
5	高橋 貴大	x	23	2	6	5	0	5	島村 知志	x	2	0	1	0	5
6	佐藤 和樹	x	18	6	0	0	2	6	河田 峻登	x	4	0	1	2	0
7	佐藤 完太	x	6	0	3	0	1	7	中村 康人	x	17	1	6	2	3
8	笹原 祐樹	x	19	2	6	1	0	8	則武 恵秀	x	6	2	0	0	1
9	古澤 祐介	/	4	1	0	1	0	9	伊藤 大知	/	2	0	1	0	1
10	青山 陽平	/	4	0	2	0	0	10	野田 海渡	/	0	0	0	0	0
11	阿部 誠	/	0	0	0	0	1	11	綿本 和真	/	0	0	0	0	1
12	志貴 一仁	/	4	0	2	0	2	12	岡田 銀河	/	2	0	1	0	2
13	千葉 昂朔	/	1	0	0	1	0	13	土井 英和	/	0	0	0	0	1
14	秋葉 真司	/	0	0	0	0	0	14	小山 拓也	/	0	0	0	0	0
15	武田 遼大	/	4	0	2	0	0	15	間瀬 良輔	/	2	0	1	0	0
16	八鍬 一斗	/	0	0	0	0	0	16	宇田 喜春	/	0	0	0	0	0
17	東海林 燎	/	0	0	0	0	0	17	柘山 祥汰	/	0	0	0	0	0
18	川田 源貴	/	1	0	0	1	0	18	岡 アタル	/	0	0	0	0	0
C	植松 哲也	/	/	/	/	/	0	C	大矢 貴彦	/	/	/	/	/	0
合計			92	11	25	9	8	合計			50	6	14	4	14

3 P = 3ポイントシュート 2 P = 2ポイントシュート FT = フリースロー

【試合レポート】

初の全国制覇を狙う地元山形六中と東海ブロック3位の明豊中の対戦。
1Q山六中・明豊中ともにオールコートマンツーマンDefでスタート。お互い初戦とあって堅さも見えたが、山六中#6の連続3Pや#8のポストプレイに対し、明豊中#7の3Pやミドルショットで対抗し、18-15と山六中3点リードで1Qを終了。
2Q立ち上がり、明豊中#4の活躍で同点に追いつく。ここから残り4分までお互いに激しいチェックをくり返し両チームとも得点が止まる。しかし、山六中#4のスティールをきっかけに連続得点を決める。残り2分でたまたま明豊中タイムアウト。ここから明豊中#7と#4の活躍で追い上げ、33-31と山六中2点リードのまま前半を終了。
後半の立ち上がり、山六中8点リードとなったところで明豊中がタイムアウトを請求。Defをオールコート2-2-1プレスから2-3ゾーンに切り替え反撃を試みる。一進一退の攻防が続くも、山六中#6の今日6本目の3Pでリードを14点差に広げ3Q終了。
4Q明豊中オールコートマンツーマンDefで追い上げようとするも、山六中の激しいプレッシャーDefにかかり連続得点を許す。勢いに乗った山六中は残り4分からメンバーを総入れ替えする余裕も見せた。地元の大声援を受け、4Qだけで35得点と終盤にゲームを決めた山六中が92-50の大差で勝利した。

記録者: 佐藤 元